

マテリアリティの目標・進捗

マテリアリティ	課題	施策	目指す姿	2024年度結果
たんばく質の安定調達・供給	畜肉の安定調達・供給	● 畜肉の安定した供給量の拡大 ● 疾病発生への未然防止への継続的取り組み	国内産畜肉の販売数量伸長率 2023年度比 104%(2026年度)	103%
	持続可能な畜産の実現	● 農家への支援・共創 ・ PIG LABO[®]、鶏生産事業における技術指導 ・ スマート畜産などの新たな技術の開発と活用		
食を通じた豊かな生活への貢献	多様化するライフスタイルや価値観への対応	● 多様なニーズに合わせた商品の開発、提供 ● 笑顔あふれる食体験の提供 ● 日本で培った知見を各国・地域に浸透	● ハムソーセージ、加工食品の主要コンシューマー商品のうち、Mealin'Good^{※1}対象製品を50%(2026年度) ● 海外加工品事業売上伸長率 2023年度比 200%(2026年度)	19.5%
	食課題解決への貢献	● 健やかなからだづくりに貢献する商品の開発、提供		112.8%
持続可能な地球環境への貢献	気候変動への対応	● 化石燃料由来のCO₂削減(Scope1、Scope2)	国内 2013年度比 29%削減(2026年度)	24.1% 減
			国内 2013年度比 46%削減(2030年度)	
			海外 2021年度比 17%削減(2026年度)	5.7% 減
			海外 2021年度比 24%削減(2030年度)	
	省資源の推進	● 家畜由来温室効果ガス削減 ● 自社農場での施策展開	—	共同研究 ● 牛メタンガス(北海道大学) ● 豚メタンガス(徳島大学)
			国内 2013年度比 17%削減(2026年度) 国内 2013年度比 20%削減(2030年度)	34.2% 減
新たな価値の創出	食とスポーツによる新たな価値の提供	● 北海道ボールパークFビレッジにおける、食品事業とスポーツ事業を核とした街づくりへの取り組み	Fビレッジ内の施設・サービスの充実による来場者数および定住人口の増加(2030年度) ^{※2}	来場者数:約419万人 定住人口:—
	たんばく質の可能性を広げる事業の創造	● R&D強化による価値創造 ● さまざまなたんばく質の可能性の探索	事業立ち上げと収益化(2030年度)	事業戦略と紐づいた全社 R&D 戦略を策定
			商品化に向けての技術確立(2030年度)	麹や細胞性食品の研究を進める
挑戦する組織風土の醸成	変革型経営人材の育成、獲得	● 役員評価項目を見直し、経営者サクセッションプランの強化	変革、挑戦、従業員エンゲージメントの取り組み進捗(2030年度)	1. 戦略的な採用・選抜・育成 ● 母集団形成 ● 選抜・育成の仕組み強化
	多様な人材の活躍推進	● 一人ひとりの挑戦を促し認める仕組みの強化、浸透 ● 多様な個が尊重され、生き生きと活躍できる環境づくり	重点管理項目の進捗(2030年度)	2. 個の成長促進 ● 成果に応じた適正評価・処遇 ● キャリア自律・キャリア充実 ● 海外人事制度の一部改定

※1 「Mealin'Good」はフィーリングッドにミールを掛け合わせ「人も地球も心地よく、より良い毎日へ。」という想いを込めたニッポンハムグループブランド

※2 来場者数:1月～12月で計算。定住人口:2030年度北広島市(2023年10月比)